



特定非営利活動法人  
 発行 くまがや小麦の会  
 発行責任者 日向美津江  
 ホームページアドレス  
<http://www.kumagayakomuginokai.jp/>  
 くまがや小麦の会 検索

NPO 法人  
 くまがや小麦の会  
 since 2006  
 事務局 〒360-0801 埼玉県熊谷市中奈良1797-1  
 TEL. 048-521-7801

### Interview シリーズ No. 11

本年、仲町区は、「殿師磐石（でんしばんじやく）」という命題を掲げ、祭の開催に向けて取り組んでいる。これは、仲町区が八ヶ町の「殿（しんがり）」として最後の「シメ」を着実に、冒頭の「志本町区へと引き継ぐ」という目標が定められている。本年の副大総代を務める多胡博幸さんは「一連の祭礼を盤石に、安全無事に執行することが、年番を担う上での大きな責任である」と話し、大総代を支える。また同じく副大総代小林孝志さんは「うちわ祭が秩父や川越の祭に負けないくらいの価値を有していることを示していけたら」と意気込みを語った。

#### 【殿師磐石】

熊谷の夏を彩る熊谷うちわ祭。今年も祭に向けて街の雰囲気は高まりを見せている。平成二十六年熊谷うちわ祭の年番町は、旧熊谷八ヶ町の最後を担う「仲町区」である。本年のうちわ祭全体を取りまとめる大総代を委ねられた八木橋宏貴さんにお話をうかがった。名門百貨店「八木橋」の取締役社長として熊谷の商業を牽引している八木橋宏貴さん。うちわ祭を通じて、多くの人々にふるさとを再発見してもらおう契機となればと考えている。「うちわ祭は熊谷の可能性を発信できる唯一無二の行事、多くの来場者に感動を与えたい」。その言葉からは、八木橋さんが大総代という重責と真摯に向き合いながら、祭りの力によって熊谷を盛り上げていこうとしている信念が垣間見えた。

#### 【八木橋宏貴さん（41歳）】

平成二十六年熊谷うちわ祭年番町仲町区大総代  
 株式会社八木橋 取締役社長



生年月日 昭和48年5月24日  
 平成14年4月 株式会社八木橋 入社  
 平成20年3月 株式会社八木橋 常務取締役  
 平成22年11月 株式会社八木橋 代表取締役社長  
 現在に至る

平成二十六年熊谷うちわ祭  
 「ふるさと再発見」祭りの力

左から、多胡副大総代、小林副大総代、八木橋大総代、田中副大総代。

また、八木橋さんは「うちわ祭を受する皆様の力が、中心市街地の活性化につながるような流れを作っていきたい」と語り、祭りの力を発端とした、商都熊谷の再生に向けての決意を明らかにした。

熊谷うちわ祭は、七月二〇日から二二日の三日間、熊谷市街地を中心に開催される。勇壮な神輿渡御、山車屋台の巡行などが行われ、熊谷の夏を彩る一大行事として今年も多くの人々を楽しませてくれることだろ

#### 仲町区と「八木橋」

八ヶ町制の成立以降、大総代を歴任するなど、仲町区の屋台骨としてうちわ祭の運営にも深く関わってきた八木橋。副大総代を担う株式会社八木橋の販売サービス室長の田中寿さんは、「うちわ祭の年番は仲町区の晴れの舞台。しっかりと盛り立てていきたい」と熱く語る。



また、中山道は、延べ二十六日を要して、平成十九年から平成二十一年の間、少しずつ歩きました。日本橋をスタートし、六十六キロを歩き、熊谷宿に着いたのは三日目の、平成十九年十二月三十日です。あの猛暑は勿論ありません。

一度、東京に帰宅しましたが、帰りは新幹線で四十分です。平成二十年一月五日に埼玉線と高崎線と熊谷駅に戻り、五分ほど歩く、道路の反対側に八木橋デパートがありました。中山道はこのデパートの一階の売り場を通っています。玄関近くには「旧中山道跡」の石碑があります。この時刻は午前八時三十分ですが、デパートは閉店中です。

#### 中山道がデパートの中

旧中山道を、延べ二十六日を要して、平成十九年から平成二十一年の間、少しずつ歩きました。日本橋をスタートし、六十六キロを歩き、熊谷宿に着いたのは三日目の、平成十九年十二月三十日です。あの猛暑は勿論ありません。

熊谷商工会議所女性会が町おこしの切り口になる熊谷の特徴は何だろうという議論が交わされ、暑い事、新幹線が止まる事、御家賃がある事、気象台がある事、小麦の収量が埼玉一を誇る事が挙げられた。小麦を、まちのおこし、と計画は進んだが熊谷商工会議所女性会では販売、製造に係るのダメが出されてしまった。では市民団体を設立して計画を進めていくがや小麦の会が発足し、メンバーは女性会の有志に立正幼稚園父母の会会員が加わり三十名足らずであった。

◆小麦の会は会員の子供達が立正幼稚園父母の会メンバーに世代交代していた。このグループが小麦の会の若い製造部を構成してくれ、熊谷産小麦を使ったパウンドケーキ、シフォンケーキ、ピザ、カステラ等の製造、講習会を担当してくれていた。市内の業者の方々にもご協力を頂き、ソシヤルビジネスとして、外注製品の開発も進んだ。直売所も十九ヶ所になり、熊谷市の催事に参加していった。ボランティア活動の一環として養護施設、障害者施設の方々と連携を取りお手伝い頂き、施設の開催にも参加してきた。八年が経過して会員は二七名になっていた。

◆三年前、埼玉県庁の熊谷出張所の北部地域振興センターにも参加して頂いた。法人化するには株式会社、一般財団、NPOと選択肢があった。小麦の会の活動目的から考えてNPO法人を選択した。平成十年に施行されたNPO法人により法人格を認められた民間団体がNPO法人。NPO法人が活動継続した民間団体がNPO法人と何ら変わらない。小麦の会の運営委員は月次決算報告から始まる。会員の皆様の会費が有償ボランティア給の支給に有難い原資となっている。民間活力で運営できる会計報告がNPO法人の活力にもつながる。

◆埼玉県庁の共助社会づくり課と言うNPO基金を管理している部署がある。ここからお声掛け頂き、共助社会づくりに推進委員に委嘱され、この四月より県庁の会議に参加させて頂いている。基金の配布と基金への寄付を募り管理する官民協働の推進委員会。その勉強会が県下の金融機関二十五名の出席を頂き五回に渡り開催された。NPO法人に民間金融機関が融資をしていくこととする勉強会。小麦の会の決算書を事例として質疑応答を行った。すでに実行されている金融機関も御有りだが、少ない。助成金の活用はNPOが新しい試みを仕掛ける時は有難い資金に違いない。この勉強会から感じた事は、利子の支払い、元金の返済が発生するが融資が助成金に変わる事により、NPO法人の決算書は金融機関の審査に耐えうる必要の支給が求められる。NPO法人より申請された事業の助成金を要求され、概ね半額は金融機関の融資等で計画し半額を助成金に頼るとしたらどんなものだろう。無理な事業も多々あることも判らう。返済を長期にわたる事業の初期には有効ではないだろうから。認定NPO法人の認定が国税庁長官が知事等に委ねられる新制度が始まっている。民間の寄付を集め易くしている。現状を把握しているNPO法人、認定NPO法人への期待が高まっている。金融機関の皆様にも、地域社会貢献の見地よりご協力をお願い申し上げたい。

#### 麦笛

NPOは、うさぐさいのか 日向美津江

## 小麦の会 活動報告

3/23(日) 第24回熊谷さくらマラソン大会  
 熊谷さくら運動公園陸上競技場  
 好天に恵まれ過去最高の参加者数となったさくらマラソン。会場内はたくさんのお客様で賑わっていました。ホルドんと熊谷うどんの行列に挟まれてしまうブース位置で不安でしたが、今回の販売員は雀幸園の高校生。元気に笑顔で頑張ってくれました。おかげさまで、くまサブレ完売です！(R)



3/30(日)~4/7(月) 第15回全国高等学校ラグビーフットボール選抜大会  
 熊谷スポーツ文化公園熊谷ラグビー場  
 お土産用に！と、ラグビーサブレは好評でした。中には「昨年買った美味しかったわ！と、他のお母様たちに勧めて下さる常連校のお母様も。嬉しいかぎりでした。(T.M)



4/20(日) 重文平山家住宅・春の祭典コンサート  
 「重文平山家住宅を活用して楽しむ会」発足1年記念コンサートに出店。秩父囃子、ハンドベル、お琴、リコーダーの演奏、落語など盛り沢山でした。ニャオさね&コパトンの囃子投げも行われ、多くのお客様で賑わいました。新発売のコロッケパンとホットドッグが好評で、出演者の皆さんにも沢山お買い上げいただきました。(R)



4/26(土) 第8回友山まつり 根岸家長屋門  
 晴天の中、友山まつりも今年で第8回目を迎えることができました。早朝よりタケノコ掘りの整理券を求めて大勢の人々が並んでおりました。熊谷市長を始め、大里商工会、青山婦人会、くまがや小麦の会のご協力により盛大に行われました。(R)



5/18(日) 第3回かごはら元気まつり

5月18日(日) 龍原駅南口にて、「龍原元気まつり」が行われ、雀幸園さまにご協力いただき、参加致しました。お客さまの中には、次のイベントでお会いできる事を約束し、笑顔で家路に向かう方もおられました。お客様に自慢の商品をお届けできる喜びを感じた一日でした。(E.N)



5/24(土) 第1回公園まつり「さくらフェスティバル」

熊谷さくら運動公園子供広場  
 今年から始まったお祭りに参加しました。キッチンカーグルメ・産直・ステージイベントなど盛りだくさんのイベントがあり、大勢の家族連れで賑わっていました。夏の様な暑さの中、雀幸園の高校生が販売に頑張ってくれました。(H.O)



5/25(日) 第4回熊谷B級グルメ大会 熊谷スポーツ文化公園

回を重ねるごとに盛大になるB級グルメ大会は、朝一番から多くのお客様で賑わいました。食パンはあっという間に売り切れ。夏日となったため、ドリンク類の販売が大好調で、大忙しの1日でした。今年はステージパフォーマンスも充実して、とても楽しいイベントでした。雀幸園の高校生が販売とても頑張ってくれました。(R)



森田義史  
 おまつりコンサート Vol.4  
 ~森田義史とその仲間たち~  
 2014年7月21日(海の日)  
 熊谷市文化センター  
 開場 - 17:00 開演 - 17:30  
 料 金 - 矢島 彩(ヴァイオリン) 他  
 ゲスト - 2,000円  
 チケットお申し込み、お問合せは  
 森田義史音楽事務所  
 電話(Fax) 048-531-3630



2014年8月30日(土)  
 熊谷文化創造館さくらめいと 太陽のホール  
 開場 - 17:30 開演 - 18:00  
 料 金 - SS席 4,000円 S席 3,500円  
 学生席 1,000円  
 ●さくらめいとチケットセンター Tel. 048-532-9090  
 ●八木橋プレイガイド Tel. 048-523-1111  
 ●原田勇雅後援会事務局 Tel. 048-607-3810  
 ●谷田楽器店 熊谷本店 Tel. 048-521-5721(代)

## あの町この店

もみじやほんてん  
 紅葉屋本店  
 代表取締役社長  
 下田 邦彦さん  
 〒360-0011  
 埼玉県熊谷市佐谷田三二四七番地  
 営業時間 八時~十七時  
 定休日 土曜・日曜・祝日・年末年始  
<http://www.monjiyahonten.com>



五家宝の老舗、紅葉屋の本店は、ガーテンパレスの広い駐車場の隣に在ります。一七六五年(明和二年)熊谷宿が中山道伝馬騒動の渦の中、イギリスではワットが蒸気機関を改良し産業革命が始まった頃、紅葉屋は石原の地でその歴史の扉を開きました。

五家宝発祥の地には諸説があり、す。水戸説・群馬・茨城・加須、そして熊谷説など。多くの地域に伝承が残っている。名前の由来も然り、定説はないようです。素朴な味わいは人々に愛され、埼玉三大銘菓の一つに数えられています。現在熊谷では一〇軒ほどのお店で作られています。餅米、きなこ、砂糖蜜を原材料とし、後は店ごとのアレンジです。

紅葉屋本店では材料の選択と伝統的な手作りを大切にしています。厳選したもち米を玄米で買い付け、自精米して餅にこだわっています。厳選したもち米を玄米で買い付け、自精米して餅にこだわっています。厳選したもち米を玄米で買い付け、自精米して餅にこだわっています。



します。これらの材料を合わせて仕上げた作業は、ひとりひとりの職人さんの手作業です。木桶・しゃもじ・のし棒・のし板・包丁・団扇等、昔ながらの道具を使い、経験と勘を駆使しながら熟練の技で銘菓・五家宝を産み出していきます。その見事な手さばきは、お客様を惹き付け、店頭での実演販売はいつも大人気です。こうした一連の製造過程は、たとえ少々非効率であっても、譲れない昔からのこだわりだそう。そして今その技は受け継がれ、若い職人さんたちも育ってきています。

そんな歴史あるお店の現社長、下田邦彦さんが入社したのは平成二十年四月、四〇歳の時。慶応大学理工学部修士課程を修了後SONYに入社し、開発・営業・マーケティングという業務に携わり、海外にも赴任していたという経歴を持ち主です。体調を崩されていた先代は邦彦さんに後を託し、その年の十一月にご逝去されました。

生家とはいえそれまでとは全く違う業種・業態。しかし「知らないことはゼロベースから謙虚に学ぶ」というSONY

て学んだ精神を生かし、無事に事業を継承していきました。そして新たな展開としてアメリカなど海外での実演販売を実現。さらにはパレコライン限定で、クーベルチュール・チョコプレートでコーティングした商品を開発・販売。フロンテはなかなか好評だったとか。五家宝の太巻きをソテーしたソースをかけるおしゃれな食べ方の提案など、斬新な試みを次々と仕掛けていらっしゃいます。

「伝統」には、過去からの素材や技を違えず伝承するという側面と、革新の連続によって継続するという側面があると思います。その両者を紅葉屋本店は見事に実践しているように見受けられます。

家業を継ぐ事は「ごく自然な選択」だったという邦彦さん。その言葉には、柔らかな物腰とちよと福山雅治似のすてきな笑顔が相俟って、とても爽やかな印象を受けました。(G)

## イベント出店予定

- 7月
  - 7月22日(火) ふれあいネットワーク お祭り護山山産物 サブレ寄付
  - 7月23日(水)-25日(金) 大幡中学校 職場体験学習受け入れ 平松研究所
  - 7月26日(土) あついで熊谷 おおさと夏まつり 大里総合グラウンド
- 10月
  - 10月3日(金) 高城神社明神市 高城神社境内
  - 10月12日(月) ニャオさねまつり コミュニティ広場

■ 会員募集  
 賛助会員年会費 10,000円 一般会員年会費 一口1,000円  
 お申込み: TEL 048-521-0026 FAX 048-521-7900

次号のお届けは2014年10月の予定です。  
 編集室 TEL 048-521-7801 FAX 048-521-7900